



若あゆだより

第54号（令和6年3月18日）

岩脇小学校学校だより

卒業証書授与式～32名の旅立ち「ご卒業おめでとうございます」～

3月14日(木)、春の訪れを告げるような穏やかな天候に恵まれ、今年度の卒業証書授与式を挙行いたしました。今年度の卒業生32名は、最後まで立派な姿を見せ、さわやかに旅立っていました。

今年度の6年生は元気で、個性豊かな子どもたちでした。それぞれの個性をのびのびと発揮しながら、自分の目標の達成や学級・学校の活動がよりよいものになることを目指して、意欲的に創意工夫をしながら取り組んでくれました。入学時からずっと1クラスで過ごしてきたゆえの人間関係などの課題もありましたが、何かトラブルが起こっても、互いが自分のことを振り返りながら、考え・話し合って粘り強く改善・解決に結びつけていったのは立派でした。そんな子どもたちを象徴するように、卒業式も練習を重ねるごとによりものに仕上げていき、「本番が一番よかった」と思えるものになりました。来賓として臨席していただいた坂本教育長さんからも「かしこまりすぎず、くだけすぎず、よい感じの卒業式で、ほんのりと穏やかな気分になることができた」とのお言葉をいただきました。

また、今年度の卒業式はアフターコロナにおける最初の卒業式になりました。久しぶりに市代表・PTA会長さん以外の来賓の方もお招きし、祝辞も昨年度までの動画ではなく、1名だけではありますが、直接、お話ししていただきました。単純にコロナ以前の形に戻すのではなく、「必要なことはしっかりやる。不要な（優先順位の低い）ものは、極力省く」という方向性で検討した結果の今年度の卒業式でしたが、小さな課題は残っています。今後も、よりよい形を探っていきたいと思います。

6年生が卒業し少し寂しくなりますが、残された1～5年生は、6年生から学んだことをしっかりと引き継ぎながら、次の学年に向けての「自覚」を高められるよう、残りの日々を大切に過ごして欲しいと思います。



登下校や放課後等の安全確保について

マチコミメールでも連絡いたしました。14日(木)の校区内での事件発生をうけて、子どもたちの安全を守るため、「登下校はできるだけ一人にならない、暗くなる前に帰宅する、夜間に子どもだけで出かけない、不審者には『いか・の・お・す・し』(ついていかない・のらない・おおごえをだす・すぐにげる・しらせる)」について、改めて、家庭でもお話しいただきますようお願いいたします。